

三島ダム洪水吐復旧工事検討会（第3回） 議事概要

- 1 日 時 平成30年12月20日（木） 14時から16時まで
- 2 場 所 千葉県庁南庁舎2階第1会議室（千葉市中央区市場町1-1）
- 3 議 事 報告書とりまとめの方向性の確認 等
- 4 検討会出席者
 - 委員長 田中^{たなか} 忠次^{ただつぐ} 東京大学名誉教授
 - 委 員 長東^{なが} 勇^{いさむ} 島根大学名誉教授
 - 委 員 田頭^{たがしら} 秀和^{ひでかず} 国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究部門施設工学研究領域
施設構造ユニット ユニット長

事務局 千葉県農林水産部耕地課事業計画室

5 議事概要

検討会では、以下のとおり会議を開催しました。

1) 以下の項目の報告を行いました。

(1) 報告書（案）の内容説明

2) 報告内容について、以下のとおり委員から御意見をいただきました。

(1) 報告書（案）について

- ① 側壁のクラックの発生原因は、側壁背面からの水圧である。ただし、発生プロセスについて、詳細に解析・解明することは、様々な要因が絡んでおり容易ではないので、本検討会ではそこまでの検証は行わない。これまでの審議内容をまとめる。
- ② 漏水原因の推定については、今回の審議内容でまとめる。
- ③ 抜本的対策は、側壁背面への水圧に耐え得るよう、十分な安全性を確保できる構造とする。
- ④ 対策工事において、地山に潜在的な亀裂があることが想定されるので十分考慮する。

以上の内容を踏まえて、最終報告書（案）を作成すること。